

京都市教師塾説明会開かれる！

5月29日午後12時10分より29講義室において、京都市教師塾の説明会が行われた。講師は京都市教育委員会指導主事の安藤 昇氏。参加者は本学2, 3年生および、すでに塾生2年目の院生1名の合計8名で数は少なかったが、皆熱心に話を聞いていた。

説明によると、京都市の教師塾は9月から7月にかけて行われる。参加コースには、スタンダードコースと経験者向けのプログレッシブコースがあり、京都市ではこれから3期生を募集する予定。現在2期目の講師塾が進行中だがスタンダードコースには約400名の参加者があり、滋賀大からも13名が参加しているという。

教師塾は「子ども一人一人を徹底的に大切にす」京都市の教育理念を体得してもらうため、次の4つのカリキュラムが組まれている。まず京都市教育学講座（10日間）では、30人を1グループとして、校長、ベテラン教員、保護者等の講演や、実践報告などをもとにしたグループディスカッションが行われる。次に学校実地研修（10日間）では、実際に学校に入って教師の仕事すべてを経験する。更に授業実践講座（2日間）では、与えられたテーマに従って約10分間の模擬授業を行い、指導案の作り方など、授業実践の具体的な方法について指導をうける。最後にフィールドワークがあり、各学校で行われる研究発表会に参加したり、青少年科学センターでの実習など、多様な講座（15講座）のうち、最低5講座への参加が義務づけられる。これらは、この順番ではなく同時並行的に行われることもあるそうだ。講座などは大学の学業への影響を減らすため、原則的に土曜日に行われる。また学校実地研修も必ずしも10日連続でなくともよく、自分の都合によりある程度日程を調整することが可能という。

説明はパワーポイントを用いて行われたが、KBS京都放送の番組の一部が動画として流されるなど、教師塾の魅力が余すところなく提示された。最後にQ&Aの形で、学業、クラブ活動やアルバイトなどとの両立も可能、教師塾卒業生に対しては採用試験における一部試験免除などの特典はないが、実際には教員採用試験の合格率がほぼ2倍である、京都市の教師塾ではあるが必ずしも京都市の採用試験を受ける義務はない、等受講者の関心事に対してもしっかりと説明がなされていた。大学で勉強やクラブ活動を頑張っている人こそ来てほしいと、本学の学生に対して熱いメッセージが発せられた。

最後に、本学の院生により教師塾について説明が行われた。グループ討論を通じて他校の学生とも知り合えるし自分の思いを具体的に言葉にする訓練になった、など、その魅力の一端が伝えられることでさらに教師塾を身近に感じた人もいたようだ。

参加者のアンケートによると、教師塾に興味をもったという人も多く、実際に参加してみたいという人もいた。12時50分ごろに説明会は終了した。

<追記>

6月28日に「プレ教師塾」が開かれる予定。これは第3期教師塾（本年10月から来年7月）への「体験版」で、パネルディスカッション、グループ討論が予定されているとのこと。対象は教師をめざす短大生、大学生、大学院生および社会人。1年生などにも情報提供の必要性がありそうだ。

【原特派員】